

主催者のご挨拶



横浜市立大学
子育て世代の時間貧困解消と男女共同参画を目指した産学共創
ラボ「とっか子育て支援フェスティバル」リーダー

叶谷 由佳 (医学部看護学科教授)

私たちのラボで行っている調査で子育て世代の方々が時間的に余裕がない中で生活されていることが明らかになりました。そこで、このフェスティバルを企画し、子育ての悩みを解決するヒントとなるトークショー、子育て支援サービスや私たちの研究結果を紹介するコーナーを設けています。ぜひ、お子さんと一緒に楽しみながら参加いただき、明日からの活力につなげていただきたいと思います。



石川 義弘 (横浜市立大学学長)

本日は、本学が取り組む産学官共創ラボのイベントにおこしいただき、ありがとうございます。このプロジェクトでは、自治体や企業、NPOの皆様との産学官連携のさらなる発展と研究成果の社会実装を目指しています。

さらに、市民の皆様との対話を深め共有し合うことで、地域課題の解決に向けたエコシステムを構築し、新たなイノベーション創出に向けて取り組んでまいります。引き続き皆様のお力添えをよろしく願いするとともに、本日まで参加いただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。



「子育て世代の時間貧困*解消と男女共同参画を目指した産学官共創ラボ」について

主 旨

私たちは、データサイエンスとエビデンスに基づいた新しい共同研究や社会実装を創出し、研究成果とそのプロセスを情報発信することで、イノベーションの土壌を築くことを目指しています。

本学の文理融合研究に携わる研究者が中心となり、横浜市の関連部署や企業、NPOの皆様と協力して調査研究を企画・推進します。そして、研究成果やそのプロセスを共有することで、新たなイノベーションの創出を目指します。

目 的

私たちは、大学・民間事業者・NPO・研究機関・行政等の産学官共創によって、データサイエンスとエビデンスに裏付けされた新たな共同研究および社会実装を創出することを目的としています。

* 時間貧困 とは？

最低限必要な生活時間が労働・通勤時間によって確保できない状態で、睡眠・余暇・育児時間を不本意に削減している状況。未就学児を持つ共働き世帯の女性は8割が時間貧困であると言われている。



大学サイトはこちら



ラボのページはこちら

詳しくは、
ここを見てね！



ラボの
インスタでも
情報発信中！
フォローしてね！

ycap_pr



戸塚区民文化センター さくらプラザ

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 16 番地 17 戸塚区総合庁舎内

ベビーカー置き場／ ベビースペースのご案内

4階の使用時間は11時45分までです。



ベビースペース

1歳半までのお子さん連れの方がゆっくりしながらトークショーを聞けるスペースです。モニターでトークショーの様子をご覧になれます。
※当日は、ホワイエのエレベーター・階段は使用禁止となります。

ベビーカー 置き場

さくらプラザの詳しい情報は
下記QRコードにて



* ホール客席内での飲食は、禁止となっております。
* 貴重品は各自で管理をお願いします。

■ アクセス

戸塚区総合庁舎内
ホール 4F・
ギャラリー 3F
(戸塚駅西口徒歩 2 分)



主 催

横浜市立大学 子育て世代の時間貧困解消と男女共同参画を目指した産学官共創ラボ
Yokohama Consortium for Alleviating Parenting Time-Poverty

(お問合せ) E-mail : ycap-labo@yokohama-cu.ac.jp

後 援

横浜市こども青少年局 / 横浜市戸塚区

協 賛

中外製薬株式会社 / 株式会社 横浜セイビ

協 力

認定 NPO 法人こまちぷらす / 戸塚区地域子育て支援拠点ととの芽
株式会社 NTT データ / 戸塚共立ひかり病児保育室

* 当日の様子は広報のため撮影し、HP、SNS等へ掲載させていただきますので予めご了承ください



公立大学法人
横浜市立大学

とっか 子育て支援 フェスティバル

親子で
わくわく
健康
イキイキ

戸塚区民文化センターさくらプラザ

2024年11月17日(日)
10:00~13:00

入場無料
(事前申込不要)



未就学児の親子で
楽しみながら
一緒に参加 !!

3 階
ギャラリー

スタンプラリーで巡る

盛りだくさん
イベント

4 階
ホール

つるの剛士さん
×
子どもの専門家

トークショー



4階ホール トークショー

10:30～11:30(10:00開場)



つるの剛士さん × 子どもの専門家が語る！

親子で楽しむ育児のススメ

1. これまでの子育て経験から感じた楽しさ・難しさ
2. 子育ての工夫や周囲からのサポート
3. 将来欲しいこんなサービスやあんなサポート

明日からの子育ての
ヒントが得られるトピック満載！



たけし
つるの 剛士 さん

1975年5月26日生まれ。
福岡県北九州市出身 藤沢市在住。
二男三女の父親。

「ウルトラマンダイナ」のアスカ隊員役を熱演した後、2008年に「羞恥心」を結成しリーダーとして活躍。一躍時の人として人気を博す一方で、アルバムトータルセールス 60万枚を記録するなど、精力的に音楽活動を行っている。趣味も多彩で、好きになっただらとことんやらなければ気が済まない多彩な才能の持ち主。

いとう しゅういち
伊藤 秀一 さん

横浜市立大学大学院医学研究科
発生成育小児医療学主任教授

1993年横浜市大卒業後、神奈川県立こども医療センター、米国 FDA、国立成育研究医療センターなどを経て 2014 年より現職。「小児科医を選んだことで人生が幸福になりました。」

子どもの病気の
ことなら
なんでも聞いて



戸塚区の
子育ての居場所
12年間運営して
きました。

もり ゆみこ
森 祐美子 さん

認定 NPO 法人こまちがらす

出産直後に感じた育児における孤独感やその後救われた経験から、ママ友数人と団体を立ち上げ、カフェや協働プロジェクトなどを運営。チャンピオンオブチェンジ日本大賞入賞

はら こうじ
原 広司 さん

横浜市立大学国際商学部准教授

赤ちゃんから高齢者までの健康を経営・経済の視点から研究に取り組む。
娘（1歳）の育児に奮闘中。趣味は旅行とアクアリウム、スポーツ観戦。いつか娘と海外旅行に行きたいと夢見ている。

横浜市と連携した
子育て調査
(ハマスタディ)を
ご紹介



3階ギャラリー ギャラリー

10:00～13:00



子育てのお役立ち情報の展示 こども向けワークショップ / 写真撮影

戸塚 mama

無料！
年賀状撮影会
(事前予約制)

可愛い夜空の背景と
撮影グッズで年賀状のお写真を撮りませんか？



ハマスタディ

子育て世帯の課題解決に取り組む
トークショーでお話した横浜市立大学の研究について紹介！

横浜市・戸塚区

横浜市や戸塚区の
子育て支援の情報を展示

戸塚共立
ひかり病児保育室

病児保育室ってどんなところ？
病気または病気の回復期にある
お子様をお預かりする施設の紹介！

国際商学部

子育て世代に寄り添う
より良いサービスを見出す
横浜市立大学の共同研究を紹介！

医学部看護学科

子育てと介護が同時に
起こったら…
多重介護って知ってる？
横浜市立大学の研究を紹介！

シール貼り by 横浜市大

【工作ワークショップ】
クリスマスツリーのシール貼り
1～3歳向けのワークショップ
作品はおうちで飾ってね！

子供向け白衣試着記念
撮影スペース by 横浜市大

白衣と聴診器で記念撮影！
(カメラマンはいません)

NTT データ

VRで創る周囲の理解
～子育ても仕事も
頑張るあなたへ

育児と仕事を両立する
難しさ、それを助ける
周りの視点を VR で体感！

家事代行サービスの
コピエ

イメージキャラクター
「コピちゃん」
家事的負担を減らして、
子どもとの大切な時間を
増やしませんか？
子育てと家事の両立を応援する
家事代行サービスを紹介！

戸塚区地域
子育て支援拠点
とっとの芽

【工作ワークショップ】
牛乳パックでつくる
キャンドル (先着 20 名)
完成した作品は、
12月6日にとっとの芽
サテライトで展示

認定 NPO 法人
こまちがらす

戸塚の「子育てカフェ」と
「赤ちゃんの出産祝い」の紹介
子育てカフェとイベントの紹介
戸塚区の赤ちゃんにお届けしている
出産祝いの展示等

ギャラリーブースを巡る
スタンプラリー 10時～13時

スタンプをあつめて
プレゼントをゲットしよう!!

※お一人様につき1枚まで、プレゼントのお引き換えは当日13時まで
※アンケートに回答する必要があります

by 横浜市大



横浜市立大学と横浜市の連携で子育て世帯の課題解決に取り組む



ハマスタディ 実施中
https://www.hamastudy.net/

ハマス
スタ
ディ
とは？

ハマスタディは、家庭と子育てに関する調査・研究を行っており、以下の様ないくつかの特長があります。

横浜市の結婚・子育て世帯 1 万世帯を対象に 5 年間に
わたって行われる大規模な調査

多様な研究者（経済経営、データサイエンス、医学など）
が協力して実施

横浜市と連携協定を結び、調査結果を報告、政策へと反映

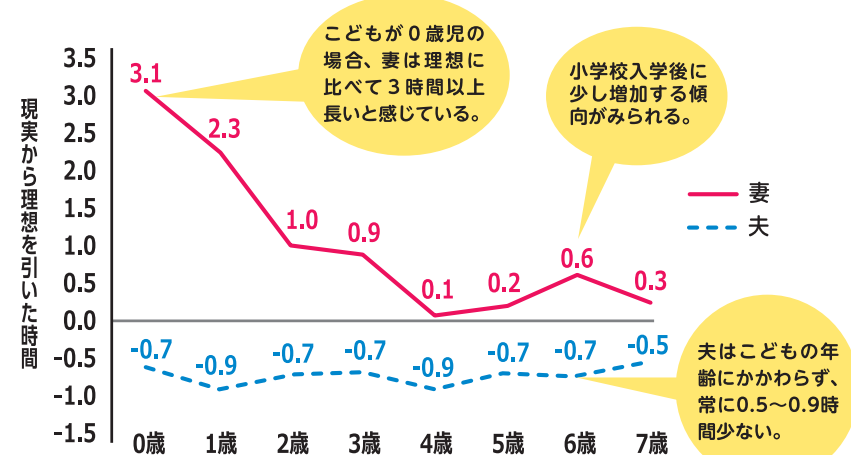


私達は、ハマスタディを通じて、横浜での子育て環境がより良くなるように研究を進めてまいります。調査にご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。引き続き応援をよろしくお願いいたします。

研究成果の一例

平日の育児時間の現実と理想のギャップ

未就学児のいる夫婦に対して、育児時間の理想と現実を確認しました。こどもの年齢別にみると、妻はこどもが 0 歳のときに 3 時間以上理想よりも長い育児時間があり、一方で夫は一貫して理想よりも 1 時間近く短い傾向がみられました。



2025 年 1 月ごろに、
戸塚区版ハマスタディを新たに実施予定です。
回答へのご協力をお願いします！

